

陸上競技協会

昭和 23 年(1948 年) 創立

戦後の混乱からようやく復興の意気盛んになった昭和 23 年(1948 年)、初代市長・添田良信先生(初代会長)の熱意あふれる指導のもとに茅ヶ崎陸上競技協会が結成された。

二代・添田高明会長時の平成 11 年(1999 年)3 月、創立 50 周年記念式典が、創立以来初の記念誌発刊記念も兼ね、茅ヶ崎市コミュニティホールで盛大に挙行された。

創立 60 周年の歴史の中で現在は、三代三橋兼信会長のもと、各種大会の計画・運営・選手強化・普及など陸上競技の発展に日夜努力を重ねている。

平成 20 年(2008 年)度、これまでの地道な活動が認められ、神奈川県体育功労者表彰を、協会として受賞した。

また、長年の夢であった、公認の陸上競技場(柳島地区に決定)については、平成 26 年(2014 年)までに整備する旨、発表があった。公園周辺道路等を工夫・活用することでも、多目的な効果が期待される。楽しみ大である。

実施大会等の概要は、次のとおりである。

◇高南一周駅伝競走大会

昭和 14 年(1939 年)から実施している県下最古の駅伝。70 回大会記念に小学生地区対抗・ふるさとランナー出場を実施。40 回出場者もあり、ますます盛大。

◇茅ヶ崎市総合体育大会陸上競技の部

昭和 25 年(1950 年)から実施。一般の部は地区対抗だったが、昭和 55 年(1980 年)から個人参加。中学生の部は昭和 55 年(1980 年)から、小学生の部は平成 15 年(2003 年)から実施。

◇茅ヶ崎市陸上競技選手権大会

オリンピック東京大会を契機に昭和 39 年(1966 年)から一般・中学の部を、小学生の部は平成 8 年(1996 年)から実施。

◇中学生陸上競技教室

底辺拡大とレベルアップを狙い昭和 46 年(1971 年)から実施。初めはオリンピック選手等によるコーチであった。現在は 15 人前後の地元出身のコーチで運営。

◇茅ヶ崎地区中学校駅伝競走大会

高南一周駅伝中学の部復活の意味合いを含み、昭和 47 年(1972 年)から実施。男女 2 部制。県大会優勝をはじめ、関東・全国でも活躍している。

◇クラブ対抗陸上競技大会

事業所・学校・地域の各クラブ育成と交流をめざし昭和 49 年(1974 年)から実施。近年は、陸上教室と並行運営。最優秀選手賞には中学生も対象としている。

◇添田杯ロードレース大会

添田初代会長の発案で昭和 39 年(1966 年)から実施。駅伝選手の育成に寄与。一般・高校(男・女)の 3 部制。平成 19 年(2007 年)から県立里山公園周辺 5km コ

ースで開催。

◇茅ヶ崎市民健康マラソン大会

ジョギング愛好者の要望に応え、昭和 51 年（1976 年）から実施。高校生・中学生・ファミリーの部は平成元年から、小学生の部は平成 12 年（2000 年）から実施。平成 3 年（1991 年）から円蔵中学校周辺コースで開催。

◇市町村対抗かながわ駅伝競走大会

第 1 回（昭和 22 年（1947 年））から連続出場。

近年、優勝も視野に入る位置をキープ。

期待大である。最高順位は 3 位。

◇三浦半島県下駅伝競走大会

上記大会の前哨戦としても、毎年好成績をあげている。

◇ちがさきリトル陸上教室

普及部が中心となり小学生を指導育成。ここ 2 年連続、全国大会出場（男子 100m）は見事。

【歴代役員】（平成 11 年度～平成 20 年度）

	H11・12 度	H13・14 度	H15・16 度	H17・18 度	H19・20 度
会 長	添田高明	添田高明	添田高明	三橋兼信	三橋兼信
副会長	三橋兼信	三橋兼信	内藤延美	内藤延美	内藤延美
	内藤延美	内藤延美	上田広次	上田広次	上田広次
	上田広次	上田広次	中島公彦	中島公彦	中島公彦
理事長	森 幹夫	森 幹夫	森 幹夫	森 幹夫	森 幹夫

※会長 初代 添田良信（昭和 23 年度～昭和 53 年度）
二代 添田高明（昭和 54 年度～平成 16 年度）
三代 三橋兼信（平成 17 年度～平成 20 年度）



（平成 20 年（2008 年）度クラブ対抗陸上競技大会）